

綱 領

1. 吾々は、社会正義に立脚した良識ある労働運動を通じて吾々の権利を守り、生活の安定と向上をはかる。
2. 吾々は、常に暴力と独裁を排し自由にして、明らかなる民主的労働組合の健全なる発展を期す。
3. 吾々は、赤十字の民主化と近代化を促進することによって、その人道的任務の達成に寄与する。

日赤新労

平成6年
3月15日
発行
第144号

発行所
日本赤十字新労働組合連合会
(日赤新労)
東京都港区浜松町2-2-14
K Iビル802
TEL (03)3433-3028
発行責任者
浜崎健蔵

'94賃上げ5.0% 15,800円に決定!

第33回

定期全国大会開催

要求書・闘争方針など決定

二月二十日より二十三日の三日間、運が太平洋に伊豆大島を眺め、背後には緑の山々が美しい伊豆「熱川ハイム」において、第三十三回定期全国大会が開催された。全国加盟組より代表員及びオブザーバー等多数参加のなか熱心な討議が行われ、新しい本部執行体制のもとに、本年度も組合員が一致団結して要求獲得に取り組んでいくことを確認した。



力強く労働歌を合唱

二月二十日より二十三日の三日間、運が太平洋に伊豆大島を眺め、背後には緑の山々が美しい伊豆「熱川ハイム」において、第三十三回定期全国大会が開催された。全国加盟組より代表員及びオブザーバー等多数参加のなか熱心な討議が行われ、新しい本部執行体制のもとに、本年度も組合員が一致団結して要求獲得に取り組んでいくことを確認した。

《報告》

大会最終日には、平成六年度本部役員及び会計監査の選挙が行われ、森嶋光恵氏(筑前山田日赤)による「熱川大会宣言」が採択された。

大会最終日には、平成六年度本部役員及び会計監査の選挙が行われ、森嶋光恵氏(筑前山田日赤)による「熱川大会宣言」が採択された。

《審議》

一、平成六年度運動方針案及びスローガンについて
賛成多数で承認決定した。本年度の取り組みについては、労働条件並びに賃上げはもとより、期末手当(一時金)の要求獲得に向けて運動を強力に展開し、一致団結して取り組むよう意見が出された。

二、平成六年度予算案について
第三回中央委員会提示された予算案について、平成五年度収支決算結果をもとに一部修正された。

三、平成六年度闘争方針案について
「給食用特殊料理専門調理師の有資格者を医療職(二)に格付けすること」については、活発な討議がなされたが、賛成多数で削除となった。

四、平成六年度闘争方針案について
「前年度同様、全国加盟組組合員とその家族の署名運動による本社社長への署名簿提出、文書・腕章・テレホン戦術、ポスト・ビラの配布、施設長並びに支部長交渉による本社への圧力強化、並びに各組におけるスト権確立、本社集金の実施、中労委提訴、実力行使などのあらゆる合法的手段をもって要求貫徹に邁進すること。また闘争

委員を通じて全国ブロックの意見の集約に努め、必要に応じて闘争委員会を開催することで、賛成多数で決定した。

第一日は、山田中央執行委員長が挨拶の後、日赤新労の期未手当の交渉にあたる。委員長の力強く合唱され、資格審査・成立確認の後、大会役員を選出。続いて議長団には議長に伊藤博紀氏(名一日赤)、副議長に西村和典氏(大津日赤)、書記に水野文広氏(原町日赤)の各氏が選出された。

開会にあたって、青山中央執行委員長が挨拶に立ち、「国内では景気が低迷している中、昨年の春闘は非常に厳しいものがあった。本社は世間並みを強調し、例年のごとく人動を待って九月三日に本社案を提示。一

第二日は、審議事項として平成六年度運動方針、予算、要求書について十分

三、会計収支決算報告
平成五年度収支決算書通り承認された。

四、会計監査報告
適正に処理されている旨、会計監査委員より報告された。

五、単組活動報告
各単組から提出された活動状況報告をもとに、各単組代表員より平成五年度の活発な単組活動状況が報告された。内容は、①団体交渉及び労使協議会開催回数 ②交渉事項とその内容 ③諸活動 ④その他についてである。

六、その他
また、第三回中央委員会では、要求書に盛り込むこととなった「給食用特殊料理専門調理師の有資格者を医療職(二)に格付けすること」については、活発な討議がなされたが、賛成多数で削除となった。

七、時間外及び休日の割増率の改定について
平成六年一月四日付労働基準法第三十七条第一項の「時間外及び休日の割増金を定める政令」(政令第五号・労働省)が平成六年四月一日より施行されることに伴い、現行の時間外及び休日の割増率の改正について、早急に本社と協議したい旨本部より説明があり、これの取り扱いについては全員賛成で本部一任となった。

八、役員改選
平成六年度本部役員については、服部育男役員除名委員長(名二日赤)より役員選出の経過報告があり、選挙の結果、出席議員多数の信任を得て決定された。また、梅村新中央執行委員長より相談役の委嘱が発表され、(新役員は裏面に掲載)



静岡県伊豆熱川で開催された第三十三回定期全国大会において、中央執行委員長に選出された梅村正一氏。

就任にあたって

中央執行委員長 梅村正一

静岡県伊豆熱川で開催された第三十三回定期全国大会において、中央執行委員長に選出された梅村正一氏に、身に余る光栄とその重責に対する緊張で一杯です。私と日赤新労との係わりは昭和四十八年から、単組では書記長、副執行委員長、執行委員長、第三ブロック代表中央委員等を経験してまいりました。また平成三年度からは本部執行委員に選出され、中央書記長も二年間務め、組合活動も早や二十年になるのかと思うと感慨深いものがあります。

さて、新年度の執行体制ですが、二十代の新人役員が選出されたのが大きな特徴と言えましょう。また、これまでは顧問と

さかではありませんが、労使協調を基本としたこれまでの伝統は当然守らなければならぬと思っております。

その一方、「これまで通りの路線でよいのか」と問われた時、伝統を守りながらも新しい方向を模索することが求められたのが大きな特徴と言えましょう。また、これまでは顧問と

非常に難しいものがあり、私としても「大変な時期に執行委員長を受けてしまったな」というのが実感です。

しかし、その職務の重要性を十分認識し、中央委員をはじめ各単組の役員及び組合員の皆様のご支援を戴きながら、今年度には、この一年が充実した年になるよう願って、就任にあたってのご挨拶とさせていただきます。

今後本部と各単組との連携を密にし、諸活動の推進に努めることにより、この一年が充実した年になるよう願って、就任にあたってのご挨拶とさせていただきます。

また、昇格基準の見直し、定年制の設定と老後補償の問題、福利厚生充実などの問題に絞って交渉すべきではなからうかと考えております。



活発な討議が行われた第33回定期全国大会

「天下り人事を排斥し、福利厚生を充実させよう」という生活と健康を期す。また、これまでは顧問と

「天下り人事を排斥し、福利厚生を充実させよう」という生活と健康を期す。また、これまでは顧問と

「天下り人事を排斥し、福利厚生を充実させよう」という生活と健康を期す。また、これまでは顧問と

「天下り人事を排斥し、福利厚生を充実させよう」という生活と健康を期す。また、これまでは顧問と

「天下り人事を排斥し、福利厚生を充実させよう」という生活と健康を期す。また、これまでは顧問と

「天下り人事を排斥し、福利厚生を充実させよう」という生活と健康を期す。また、これまでは顧問と

「天下り人事を排斥し、福利厚生を充実させよう」という生活と健康を期す。また、これまでは顧問と

「天下り人事を排斥し、福利厚生を充実させよう」という生活と健康を期す。また、これまでは顧問と

大会スローガン

- ◎ 実質的賃金を獲得し ゆとりある生活の実現
- ◎ 労働時間短縮と 完全週休2日制の早期実施
- ◎ 教宣活動を強化し 組織の団結を図る
- ◎ 福利厚生を充実し 活力ある職場に
- ◎ 育児給の支給範囲拡大と 介護休暇制度の導入
- ◎ 天下り人事を排斥し 内部登用を図る

平成6年度本部役員

中央執行委員長

梅村 正一 (名二日赤)

中央副執行委員長

川島 環 (鳥取日赤)

中央副執行委員長

山田 徳子 (福島日赤)

中央書記長

浜崎 健蔵 (岡山日赤)

中央会計

小池 且子 (香賀日赤)

中央執行委員

坂本 樹由 (足利日赤)



中央執行委員

秋葉 俊之 (山形血セ)

中央執行委員

粕谷 幸司 (愛知血セ)

会計監査委員

富江 武司 (大津日赤)

会計監査委員

大里 伸幸 (筑前山田日赤)

相談役

青山 圭一 (岡山日赤)

相談役

松本 晃 (鳥取日赤)



退任のご挨拶

前中央執行委員長

青山 圭一

伊豆熱川において開催された第三回定期全国大会をもって、中央役員を退任することになりました。わが日赤新労は、結成当初をのぞいて、昭和四十五年の第九回定期全国大会(於・熱海)で初めて本部執行委員に選出され、以後七年間中央書記長、中央副執行委員長を歴任してまいりました。その後、相談役として、昭和六十二年にも活動を続け、昭和六十二年に再度中央副執行委員長として本部に入り、最後の四年間は中央執行委員長として、合計十四年間本部役員として皆様のお世話をさせて頂きました。この長きに渡る間、中央役員をはじめ、全国組合員の皆さんのご支援、ご協力で大過なく任務を遂行できたことを、心より厚く御礼申し上げます。また、はじめの頃は、日赤新

新役員です よろしく!

中央執行委員

秋葉 俊之氏

さて、私は在任中、本社交渉は勿論のこと、単組の支援、未組織施設のオルグ、そして組合組織のオルグ、そして組合員への指導を受け、大変お世話になりました。また、経歴をさせて頂きました。また、全国赤十字の病院、血液センター、支部の皆さんと膝を交えて、支那の皆さんと知り合えたことは、私にとって最大の喜びとさせていただきます。今後は梅村新執行委員長を中心に、本部と単組が一体となって新労発展のため努力されることを期待します。最後に、全国の組合員の皆さんにお祈り申し上げ、退任のご挨拶と致します。前中央執行委員

増田 淑雅

この度、熱川第三回定期全国大会を機に、二年間務めさせて頂いた中央執行委員を退任させて頂くことになりました。組合員の皆様には何の力にもなれず、ただ月日だけが通り過ぎた気がしますが、どうか

新年度に向けて

宮城県赤十字血液センター 職員組合



平成元年度に単組執行委員となり、今年で六年目を迎える。現在血液センターは、凝固因子用原料血漿、自己血、放射線照射など、様々な問題を抱えています。しかし、血液センターのトップの多くは、天引きなどで四分の五で頭張りしたいと思っております。五年で替わりたいと思っております。このような現状の中で、各単組の組合員一人一人が自分たちの力で現状を変えて行こうという思い、環境は悪くなる一方だと思っております。血液センター出身の役員ということで選ばれたプレッシャーもありますが、自分なりに頑張りたいと思っております。よろしくお祈りいたします。

昨年度は、各血液センター諸般の事情で中央執行部に役員を送り込むことができず、第二プロクとして何とか血液センターから役員を送り出そうと検討を重ねてきました。その結果、本年度は山形血液センターの秋葉さんに出いただくことになり、その若い力に期待するところです。他プロクの血液センターにおかれましても、今後本部役員を送り込めるよう検討され、血液センターの役員不在というところで白羽の矢がささり、本部執行委員となりました。まずは簡単にプロフィールから...

第33回定期全国大会 熱川大会宣言

日本赤十字新労組組合は、給付拡大と、介護休暇制度第三回定期全国大会を、美の導入、「天引き人事を排斥し、内部登用を図る」の六項目に囲まれた熱川ハイソにおいて、盛大に開催した。我々は、平成六年度運動方針として、「実質賃金を獲得し、ゆとりある生活の実現」を掲げ、「労働時間短縮と完全週休二日制の早期実施」「教育活動を強化し、組織の団結を図る」「福利厚生を充実し、活力ある職場を」「育児給の支



大会宣言を朗読する 森嶋光恵さん

また、昨年は人事院勧告により公務員の期末勤勉手当が一割引き下げられたことにより、ほとんどの施設でその引き下げを余儀なくされました。このような状況下、今年の景気も回復に向かう兆しがなく、今後も悪化していくことが懸念されており、一致団結して、頑張る必要があります。取り組み、一致団結して、頑張る必要があります。二日目は、ショッピングを手

恒例 露天風呂ツアー

岡山日赤従組 福利厚生部

隔年に実施され、毎回好評を得ている露天風呂ツアーが、一月九日(土)、十日(日)、十一日(月)の二日に分かれて開催された。これは福利厚生部が実施している催しで、対象者を組合員のみに限定。毎回たくさんの女性の参加を得ているが、今回は、数名の男性と女性で、総勢十七名と前回より若干減った。旅行先は、バスによる山陰の湯原温泉(鳥取県)と湯原温泉(岡山県)の二つの温泉をめぐるコースとなった。この企画は、根強いファンのおかげで半分続きである。ちなみに、個人負担金は一万円

第一回中央委員会案内
平成6年5月15日(日)~16日(月)

鬼怒川観光ホテル
〒321-25 栃木県塩谷郡藤原町大字藤原1
電話(0288)77-1101代 FAX(0288)76-8639